十六日大正日々

藤永田の職工が負たら

同情罷業を起す

電線所職工の弱腰を嘲る

住友伸銅と製銅職工の意氣

同じ住友を工場主に戴く電線所職工の歎願書提出以來の腰弱き態度を冷笑して居る伸銅所及び製銅所の職工三千餘名は二工場の有力な組合たる新進會を中心として團體交渉權要求の機會を待ちつゝあるが最近に起つた友誼團體たる藤永田造船所職工の運動が職工側の敗北と決した場合は電線所を別として二工場が奮起し同情罷業を行ひ團體交渉權を要求することを十六日決議した

關西勞働

運動を研究しよう

石原內務省事務官談

關西勞働問題視察の爲め來阪の筈である內務省安井事務官が病氣のため十五日午前八時同省石原事務官代つて來阪したが氏は語る「實は安井君が來る筈であつたが病氣のため急に見合せたので私が出張を命ぜられた何分私の仕て居る仕事と勞働問題とはかけ離れ過ぎてゐるので是と謂ふ纏つた話は出來ない然し二三日滯在を機會に關西の勞働運動も研究して見るつもりである」云々

會社側は

高飛車

住友電線の第二回交渉前同樣か

市內西區恩貴島町住友電線製造所に於ては既報の如く第一回歎願書に對する回答書を交附した所職工側幹部は十四日夜恩貴島町本願寺に集合して委員の再選を行ひ第二回交渉委員として阿部氏外五名は

前日同樣の第二歎願書を十五日午前十時半提出したが、出勤職工は全部千二百名ばかりで大部分は平常の通り就業してゐるけれども中には多少の怠業者もある模樣であるが會社側では十六日の回答書も前日同樣の回答であるらしく要求中の退職手當團旅費等は二箇月以內に返事すると言つてゐる、職工側に於ても團體交渉權は目的で無いらしく只給料問題が高調されてゐる、これに對しては會社側は昨年と本年の物價高程表と職工收得額を示して辯明に努めてゐるが要するに高飛車に出る態度らしい

友愛會は赤化して居ぬ

未だ引退の時期が來ないと

鈴木友愛會長語る

最近友愛會の勞働爭議に對する手段が著しく過激化の傾向を帶びたと稱せられ極端なる直接行動を唯一の信條として居るかの如く目されつゝあるが是れに就き總同盟派なるの故を以て引退の噂迄立てられた鈴木同會長は語る「友愛會赤色化なる言葉が頻に耳に入るがドノ點が赤色化なのか譯が分らぬ勞働者が日一日と目覺めて來て協調主義や温情主義に慊りなく成り普選も現在の政界の有樣では駄目だと見極をつけたのは進歩ではあらうが赤色化ではあるまい産業を工場主の專制政治から解放せしめ勞働者をも消極的にではあるが管理經營の一分子たらしめやうとする團體交渉權の要求なぞは其一例である是れを以て過激化などゝ云はれるのでは勞働者は立つ瀬があるまい又友愛會が普選運動を捨てたのは決して本部の指令でやつた事では無く地方聯合會の一二が其聯合會の決議としたたけで友愛會は未だ決して普選を捨てぬ私の引退問題か？時期が來れば後進に事を託して仕舞ふかも知れぬが未た其時期では無いようだ」云々

ローリンクリーム
美顔水
最新式
二大化粧料
本舗大阪 松本竹商店

藤永田罷工團

示威行列

築港で經過報告

藤永田造船の罷工團約三千名は十六日午前九時半から大々示威行列を行ひ木津川終點から大正橋、境川、安治川を經て築港に出て其處で經過報告を爲す筈であるが十五日夜八時頃友愛會の安井支部では約五百名の者が大正橋附近に於いて應援の示威運動をなした尚十六日は住吉の南支部でも大和川邊に於いて大示威行列を爲す筈である因に今回の罷業に對して神戸聯合會から四百圓の同情金があり又泉尾町の酒醬油商和田源之助氏から醬油二十挺の寄贈があつた